

みやしろ

議会だより

No.114
2020.5.1



令和2年度一般会計予算

106億円で新年度スタート 2

浸水対策に議論集中 6

新人議員が増えた議会構成 9

町政をただす 一般質問に13人が登壇 ... 10

町民の声・各議員の賛否 24

笑顔がいっぱい
(ふじ児童クラブ)



宮代町議会一般質問
録画QRコード



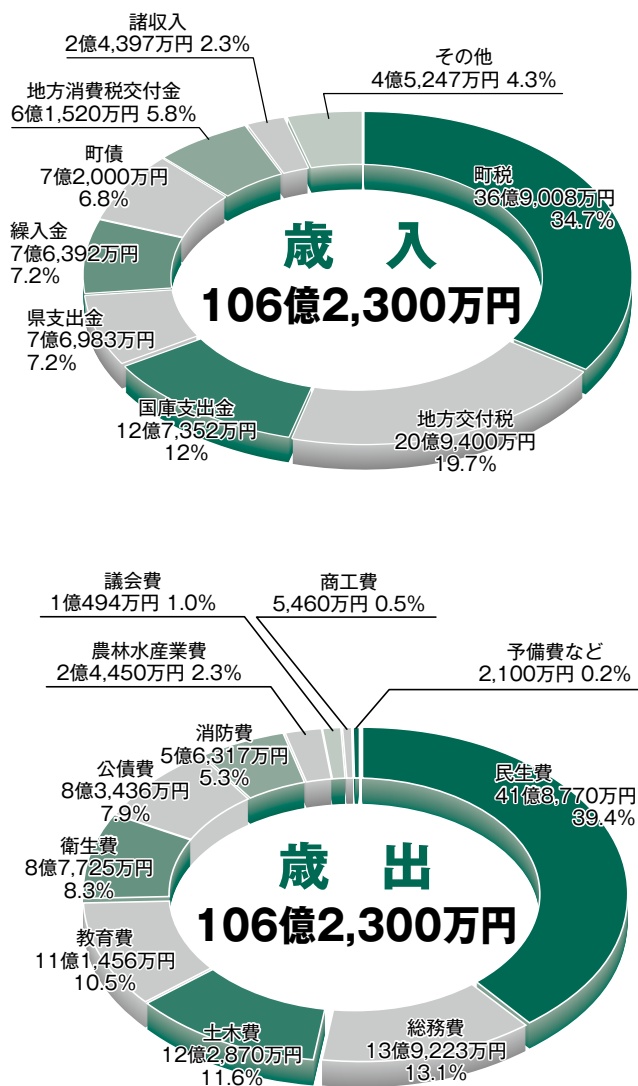
宮代町議会H.P.
QRコード

令和2年度一般会計予算

106億円で新年年度スタート

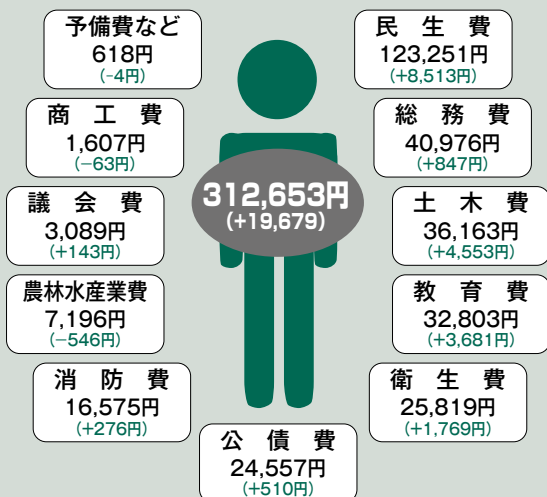
3月定例議会は、3月2日から3月25日まで24日間にわたって開かれました。町長から令和2年度一般会計予算など17件が提案され、予算特別委員会ならびに本会議で審議の結果、すべて原案のとおり可決・同意しました。議員提出の意見書は全会一致で可決しました。一般質問では、13人の議員が質問に立ち、町政をただしました。

一般会計予算の内訳



一般会計歳出予算の町民1人当たりの金額

(前年度比)



※人口33,977人 (令和2年3月1日現在)

主な使いみち

進修館管理事業	4,051万円
防災活動事業	3,059万円
地域コミュニティ活性化事業	2,064万円
交通安全対策事業	831万円
みやしろの魅力推進事業	402万円

生活・環境

広報が読みづらいという声がある

問 消防団詰所の改修事業の予算額が大きいが。

答 老朽化している消防団詰所を計画的に更新している。令和2年度は第3分団の建て替え工事を実施する。

問 防災関係では。

答 地震と洪水のハザードマップの改定、避難所案内看板の更新などを行う。

問 進修館の駐車場対策は。

答 車を駐めるのは、「役場か進修館、社協の利用者に限る」との看板を立てた。

短期間だが警備員を配置した。状況は少し改善した。

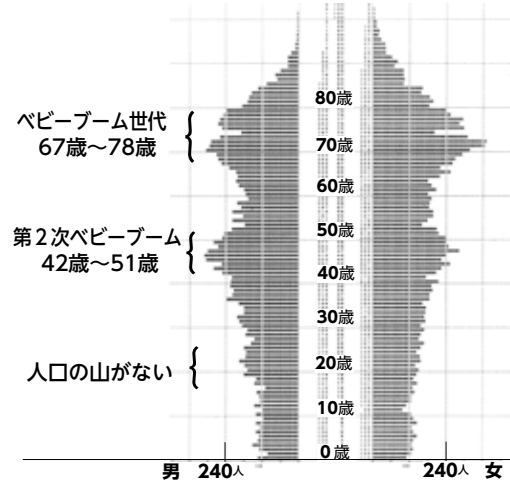
問 広報がタブロイド版となり町民から読みづらいという声を聞くが。

答 紙面を大きく、フルカラーに変更した。「保管に困る」という意見が最も多い。「読みにくい」、「読みたい記事がどこにあるか分からない」との意見も。一方、「前より分かりやすい」との意見もある。



笠原沼落川の草刈作業

2020年2月29日 宮代町の人口ピラミッド



2040年以降は労働人口が激減する

主な使いみち

OA管理事業	1億2,779万円
広聴・広報事業	1,086万円
ふるさと納税管理事業	970万円
第5次総合計画策定事業	442万円
防災コミュニティ促進事業	389万円

総務・財政

ふるさと納税の50%は経費

問 第5次総合計画策定の予算が減っているが。

答 策定は3か年かけて行っている。基本調査などの業務が終了していることからこの金額になる。

問 ふるさと納税に対して経費の割合は。

答 平成30年度の決算では寄付金が6843万円。これに対して、ふるさと納税管理事業額は3475万円。経費割合は50・8%である。

問 今年度予算の特徴は。

答 子育て関連では新たな地域子育てサロンなどの開設を予定している。学童保育の指定管理への移行で、開所時間が延長となる。

問 土地開発公社は休眠状態が続いているようだが。

答 土地の取得は最後が平成5年ごろ。以降26年間は土地の先行取得はしていない。

主な使いみち

都市計画道路整備事業	1億86万円
東武動物公園駅西口周辺整備	6,534万円
公園等管理運営事業	4,168万円
新しい村管理運営事業	3,715万円
宮代型観光推進事業	336万円

建設・観光

新しい村の地場産売上比率の減少

問 新しい村の売上のうち町内生産者の売上比率の減少が止まらない。仕入れて売るなら、民間の店舗と同じで民間業者圧迫となるが。

答 地場産のものが半分を切っていく事態だと、直売所としていかなものかとか考える。今後の方向性を検討していく。

問 東武動物公園駅東西周辺の整備は。

答 駅西口周辺は中央通り線の歩道整備と、交差点の

改良工事。駅東口は駅前広場整備に向けて、用地の買収などを継続する。

問 宮代マルシェ（トウブコフェスティバル）はにぎわっているが、町内で店舗を構えた事業者はあるのか。

答 2店舗が町内で起業。

問 起業の支援対策は。

答 まちなか起業創業支援事業として、杉戸町と協働で月3万円ビジネスの講座を予定。



社会福祉協議会が入所する予定の旧ふれ愛センター

主な使いみち

障がい者総合支援事業	6億6,879万円
学童保育所運営事業	1億1,921万円
便利バスが走る事業	3,075万円
地域敬老会支援事業	1,113万円
男女共同参画社会推進事業	259万円

保健・福祉

旧ふれ愛センターの復活はなるのか

問 旧ふれ愛センターを憩いの場として復活の内容は。

答 大広間、囲碁将棋部屋、浴室を復活するのではない。町民が交流するスペースを予定している。

問 地域子育てサロンは。

答 店舗の協力を得て、定期的に子ども連れで集まれる日時を設定し、親子が交流できるような考えていく。

問 児童手当は3人目からの増額を検討しては。

答 0歳から3歳未満は一

律1万5000円。3歳から小学校修了前まで第1子、第2子が1万円、第3子以降は1万5000円。中学生は一律1万円。全国的な制度で金額は基本的には変えない。

問 小学校が休校になって、学童保育所の入所者数は。

答 学童保育所は朝7時半から運営している。新しく6人が入ったが、全体の人数は減少した。長期休暇届けを出した方が多い。



町民の憩いの場「新しい村」

反対討論

丸藤 栄一 議員

旧ふれ愛センターは高齢者の憩いの場に

①町の財政を悪化させる東武動物公園駅東口の開発計画は見直すこと。②旧ふれ愛センターでの高齢者の憩いの場は確保すること。③カーブミラーや防犯灯は要望どおり設置すること。④小中学校の適正配置は地域住民の十分な理解が得られるよう議論を行うこと。

賛成討論

角野 由紀子 議員

人材確保と事業推進を図っている

議会や町民対話の要望・意見を取り入れている。①病児保育や学童保育など子育て環境の推進。②ハザードマップやブロック塀撤去の補助制度。③プログラミング教育や英語の予算と人材確保。新型コロナ感染拡大の影響が時々刻々と変化し、町には迅速・的確な対応をお願いする。

賛成討論

浅倉 孝郎 議員

教育環境向上に積極的な予算に賛成

小中学校施設管理事業の修繕費に賛成。児童生徒、先生方、保護者にとって修繕費などの予算はとても助かる。ただし、児童生徒が毎日使うトイレの改善は早急に進めてほしい。防災活動事業予算に賛成。再生可能エネルギーの活用を取り入れてほしい。

賛成討論

小河原 正 議員

賛成はするが要望の一端の実現を

①新型コロナ対策と支援を。②旧ふれ愛センターは納めできるレイアウトを。③道仏区画整理地区に公民館の建設を。④宮代町に中央公民館の建設を。⑤便利バスは全町の運行を。⑥東武動物公園駅西口に病院誘致を。⑦浸水対策整備はスピード感のある対応をすること。

賛成討論

丸山 妙子 議員

3地域での子育てサロンの開設

姫宮駅、東武動物公園駅、和戸駅の3か所において子育てサロンが開設されること。小規模保育園が道佛地区にできることや町立保育園の保育室の増により、保育の質の向上。かねてより要望している公共施設の借地解消のための8000万円の予算計上などを評価する。

賛成討論

金子 正志 議員

宮代町の課題に取り組む

①姫宮落川の整備が進み笠原地区の浸水が改善される。②和戸の陸橋、東口の駅前道路、新橋通り線の整備が順調。③小中学校のネットワーク環境の整備など賛成する。
町長報酬20%削減の継続、合併に関する対話集会の開催、住宅地を中心に広域での学校適正配置を望む。



県内でも珍しい木造校舎の東小学校

主な使いみち

図書館管理運営事業	8,431万円
総合運動公園管理事業	7,181万円
資料館管理運営事業	5,571万円
英語教育推進事業	1,692万円
社会教育活動事業	222万円

教育・文化

小中学校の適正配置は統廃合なのか

問 小中学校の適正配置は統廃合ありきなのか。

答 中学校を1校に、小学校を3校に再編する。この検証を行っている。

問 放課後子供教室は17時までで延長できないか。登録制でなく自由にできないか。

答 教室はボランティアの方で支えられている。17時に迎えに来られない保護者には、ファミリーサポート事業の紹介をしている。登録制とするのは保険代。児童の人数がわからないと、教室の確保、スタッフの人数など運営に差し支わりがでる。

問 不登校対策事業について。

答 いじめ不登校対策連絡会議は年に3回開催。学校管理職、相談員、スクールソーシャルワーカー・カウンセラー、元警察官、職員などが委員となる。

一般会計補正予算

笠原地区の浸水対策、小中学校情報通信ネットワーク整備など

賛成11、反対2で可決

歳入歳出予算に2億1637万円を追加し、総額を109億879万円とするもの。
 各種事業実績の確定による減額、国の施策を活用した小中学校校内情報通信ネットワーク整備及び笠原地区浸水対策事業の実施などが主なものです。



笠原地区の浸水被害（台風19号）

主な質疑

浸水対策について

問 浸水対策の目的は。

答 笠原地区の浸水を少しでも軽減するよう姫宮落川の第5排水路にポンプを設置し、笠原沼落川に排水すること。

問 笠原地区の浸水対策事業5053万円の積算内容は。

答 委託料は排水管の布設工事の実施設計などで650万円。工事請負費は笠原小のグラウンド下に埋設管を約150m、第5排水路からの排水を笠原沼落川に流す工事で3000万

円。備品購入費はエンジンポンプ3台、1トントラック1台購入予定で1392万円、その他で11万円。

問 台風19号で笠原地区の浸水面積と、たまった水量はどのくらいか。

答 面積は約2・6ヘクタール、水量は約7000立方メートルと想定。

問 浸水対策の効果は。

答 仮にポンプ2台を10時間稼働すると約3600立方メートルの水が排出できる。それに加え、第6排水路ポンプが2基稼働しているので、短時間での排出が可能である。

事業名	補正額	主な補正理由
福祉医療センター運営事業	396万円	福祉医療センター駐車場精算機の故障に伴う修繕費
道路維持管理事業	6,450万円	冠水対策工事及び舗装修繕工事
湛水防除対策事業	5,053万円	笠原地区浸水対策事業の実施
小中学校施設管理事業	1億8,029万円	国施策を活用した小中学校校内通信ネットワーク整備

問 笠原小学校庭の下に埋設管を埋めるのではなく、巻ホースのほうが良いのでは



昨年の台風19号での被害（笠原小学校前の人道橋から）

ないか。

答 巻ホースの場合
は、ホースの抵抗で
水圧が大きく低下し
てしまうと考えてい
る。

問 姫宮落川の改修
が進めば、笠原地区
の浸水が解消される
と分かっている中で、
2、3年しか使わな
いのなら、税金の無
駄遣いにならないか。
答 2、3年で完了
するかどうかは未知
数。今できることを
進める必要があると
考えている。

小中学校通信ネット ワーク整備について

問 今回の事業費は
1億8029万円だ
が今後の財政負担は。
答 児童生徒1人1
台体制を整備するに
は9800万円必要
になる。初期の段階
では、3分の2、6
500万円程度国か
ら補助金がくる。そ

の後、機器の更新に
ついての補助金は見
込めない。

問 今後、端末整備
はどのように。

答 機器については、
令和2年度から令和
5年度の4か年で行
う。令和2年度で小
5、小6、中1。令
和3年度で中2、中
3。令和4年度で小
3、小4。令和5年
度で小1、小2の順
で導入される。

問 教師に新たな負
担になるのでは。I
CT支援員を各学校
に配置すべきではな
いか。

答 研修会や情報共
有、情報提供などを
して負担軽減を図る。
また、先生方がどう
いう支援を求めている
か把握したうえで、
支援員も次の課題と
なる。

一般住宅耐震対策

問 耐震診断及び耐

震工事などの事業実
績が減っているのは
なぜか。

答 首都直下型地震
の発生も指摘されて
おり、周知啓発活動
を行いながら、1件
でも多く耐震改修が
進むようにしていき
たい。

反対討論 丸藤栄一議員

姫宮落川と笠原沼落
川の浚渫、笠原地区の
浸水対策は評価する。
しかし、教員不足が
叫ばれているときに、
1人1台端末は財政的
にも優先順位がおかし
い。

賛成討論 角野由紀子議員

宮代町の子ども達が
予測可能な未来社会を
自立して生き、これか
らの地域や社会の創り
手となっていくために
は、学校のICT化は
その必須条件であり賛
成する。

賛成討論 金子正志議員

笠原浸水対策は住民
からの請願に対し、誠
実な対応に感謝する。
笠原沼落川の山崎80
9-1番から小沼橋ま
での整備は、令和2年
度内に終わるよう願
いする。

賛成討論 丸山妙子議員

笠原浸水対策の早い
対応は評価。
GIGAスクールへ
の参加は、ひとり親家
庭など、家庭の教育環
境に大変差があり、同
じ環境で学べ、将来に
結びつく。

賛成討論 浅倉孝郎議員

笠原地区の浸水対策
は評価する。しかし、
笠原小グラウンドの下
に管を通すことは、検
討してほしい。また、
笠原沼落川の浚渫の際
には、自然環境に配慮
してほしい。

一部事務組合の令和2年度予算

久喜宮代衛生組合

39億1,268万円（前年度比6.5%増）

▶構成 久喜市、宮代町の1市1町

▶主な収入

1市1町の負担金
30億2,365万円
（宮代町は
5億390万円）

▶主な支出

塵芥処理費（ごみ処理費）
27億990万円
（うち委託料
20億2,988万円）



広域利根斎場組合

2億3,589万円（前年度比1%減）

▶構成 加須市、久喜市、幸手市、宮代町の3市1町

▶主な収入

3市1町の負担金 1億1,000万円
（宮代町は888万円）

施設使用料 1億32万円

▶主な支出

斎場管理委託料
9,402万円
需用費（燃料など）
4,826万円



埼玉東部消防組合

66億4,400万円（前年度比5.7%増）

▶構成 加須市、久喜市、幸手市、白岡市、宮代町、杉戸町の4市2町

▶主な収入

4市2町の負担金 62億4,883万円
（宮代町は4億7,080万円）

▶主な支出

常備消防費 58億5,201万円
常備消防施設費 5億7,094万円



同意しました

議会選出の監査委員に

西村茂久氏



全会一致で同意しました。任期は令和6年2月28日です。

意見書

加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的助成制度の創設を求める意見書

加齢性難聴は日常生活に支障をきたし、コミュニケーションを困難にするなど、生活の質を落とす大きな要因になっていきます。最近では、加齢性難聴によるコミュニケーションの減少によって、うつや認知症の危険因子になることも指摘されています。

補聴器購入に対する国の補助対象は、身体障害者福祉法第4条に規定する身体障害者で、障害者手帳を持

つ両耳の平均聴力レベルが70デシベル以上の高度・重度難聴者に限られています。補聴器の値段は片耳だけで3万〜20万円、両耳だと40万円、50万円にもなり、保険適用がないため補助対象外の方は全額自己負担となっています。低所得者にとっては、補聴器の購入そのものが困難と言わざるを得ません。

補聴器のさらなる普及は、高齢になっても生活の質を落とさず、心身

とも健やかに過ごすことができ、高齢者の社会参加の促進、認知症の予防、ひいては健康寿命の延伸、医療費の抑制にもつながるものと考えられます。

よって、国に対しては、加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的助成制度を創設されるよう強く要望します。



新しい議会構成が決まりました

住民の安心・安全・命を守るまちづくりを

総務文教委員会 6人



(写真右から)
浅倉孝郎 副委員長
丸藤栄一 委員長
土淵保美
泉伸一郎
塚村香織
九山妙子



議長
田島 正徳

宮代町は、来年度から第5次総合計画がスタートします。今後10か年の宮代町が進む指針を決定し実行されます。さらに、少子高齢化・冠水対策・デマンド交通など、さまざまな問題に取り組む必要があります。喫緊の課題としては、住民の安心・安全・命を守る新型コロナウイルス感染症対策です。住民代表の議会として、その役割を十分に果たすために、今回の議長、副議長の就任はとても意義深いと思っております。皆様信頼される議会として全力で取り組んでいきます。

福祉産業委員会 7人



川野武志
角野由紀子
合川泰治 副委員長
山下秋夫
小河原正
西村茂久 委員長
金子正志



副議長
小河原 正

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言が発令されて、町もいままでに経験をしたことのない対応を行い、今後、早い終息を願っています。宮代町議会は、開かれた議会を目指し、議員活動原則を定め、市民参加による豊かな活力あるまちづくりの実現を図ることを目的としています。今後も多くの課題があるなか、大局に立ち未来を導きだし、明るく住みよい街づくりのため全力を尽くして活動する決意です。

議会運営委員会 6人



川野武志 副委員長
合川泰治
丸藤栄一 委員長
角野由紀子
小河原正
浅倉孝郎

議会広報委員会 5人



泉伸一郎 副委員長
塚村香織
浅倉孝郎
丸藤栄一 委員長
金子正志

久喜宮代衛生組合議会議員 5人

議員	九山妙子
〃	浅倉孝郎
〃	泉伸一郎
〃	川野武志
〃	塚村香織

広域利根斎場組合議会議員 2人

議員	西村茂久
〃	角野由紀子

埼玉東部消防組合議会議員 2人

議員	山下秋夫
〃	土淵保美

議会選出監査委員 1人

委員	西村茂久
----	------

町政をたただす

一般質問は3月5日、6日、9日の3日間、行われました。

13人の議員が登壇し、防災・浸水対策や子育て・教育問題、循環バスなど56項目にわたり、町の考えをただしました。



本会議の様子

通告順(発言順)の記載でなく、抽選順としています

一般質問項目一覧

1. 角野 由紀子 議員…………… P11

- ① LGBTに関する取り組み
- ② 学校ICTの環境整備・取り組み
- ③ 庁舎などの自販機でペットボトルの排除
- ④ フレイル対策

2. 泉 伸一郎 議員…………… P12

- ① 公共交通の充実
- ② 近隣市につながる道路整備
- ③ 医療施設の誘致
- ④ 憩いの場としての公園

3. 山下 秋夫 議員…………… P13

- ① 小中学校統廃合
- ② 国民健康保険税と子どもの医療費問題
- ③ 宮代町での浸水対策と防災マップ、避難体制の充実を

4. 川野 武志 議員…………… P14

- ① 和戸駅西口の開設
- ② 和戸駅西側地区の現状と今後の取り組み
- ③ 都市計画道路「春日部久喜線」の整備
- ④ 備前堀川の護岸整備

5. 塚村 香織 議員…………… P15

- ① 子どもの居場所
- ② 学校に行けない児童生徒
- ③ こども医療費支給制度

6. 丸藤 栄一 議員…………… P16

- ① 消防署中島出張所の存続を
- ② 災害時に逃げ遅れゼロ、犠牲者ゼロの防災対策の構築を
- ③ 宮東地内の町道第17号線の修繕を
- ④ 道佛地内の交通安全対策を

7. 小河原 正 議員…………… P17

- ① 浸水対策
- ② 循環バス
- ③ 新型コロナウイルス
- ④ 医療施設の誘致

8. 丸山 妙子 議員…………… P18

- ① 町長の人権意識を問う
- ② 災害など緊急時には町民第一で迅速な判断と対応を
- ③ 学童保育所新設に指導員の要望をどれだけ反映したか
- ④ 須賀下地域と杉戸町の武蔵堤の間を流れる川に、人道橋の設置を

9. 合川 泰治 議員…………… P19

- ① 西武ライオンズとの今後の展開は
- ② 聖火リレーへの対応
- ③ 宮代町の地方創生
- ④ 旧ふれ愛センターの跡地利用
- ⑤ 小中学校の適正配置

10. 金子 正志 議員…………… P20

- ① 選挙公報の折込部数の推移
- ② 選挙事務所への必勝ピラ
- ③ 教育施設のネットワーク
- ④ 町長報酬20%削減の根拠
- ⑤ 笠原地区の浸水対策
- ⑥ 非正規職員の待遇改善
- ⑦ 合併をテーマとする対話集会

11. 浅倉 孝郎 議員…………… P21

- ① 小中学校のトイレの改修
- ② 水道水のにごり
- ③ 高齢者の交通
- ④ 第5次宮代町総合計画
- ⑤ 経済活動

12. 西村 茂久 議員…………… P22

- ① 和戸駅西口開設及び地域活性化
- ② 町内循環バスの運行
- ③ 和戸横町地区都市計画変更
- ④ 側溝整備事業
- ⑤ 民生委員・児童委員制度

13. 土淵 保美 議員…………… P23

- ① 宮代町でのロードレース大会実施
- ② 町民まつり
- ③ イベントの地域への拡大
- ④ 道路整備

◎ 白抜きの数字は掲載された質問。それ以外は紙面の都合により掲載できなかったものです。



かどの ゆきこ
角野 由紀子 議員

児童生徒に1人1台の計画はあるか

GIGAスクール構想を基に実現していく

整備内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小学 校内LAN整備	3月補正				
小5・小6 端末整備		9月補正			
小3・小4 端末整備				当初予算	
小1・小2 端末整備					当初予算
中学 校内LAN整備	3月補正				
中1 端末整備		9月補正			
中2・中3 端末整備			当初予算		

GIGAスクール構想実施スケジュール案

問 児童生徒向け、端末の1人1台の計画はあるか。超高速ネットワーク環境整備についてはどうか。

答 教育推進課長

「GIGAスクール構想」に基づき児童生徒1人1台の端末と高速大容量の通信ネットワークの整備を、令和5年度までに実現したい。

問 プログラミング教育の取り組みは万全か。

答 教育長

平成30年度から、プログラミング教育必修化に先駆け、小学校4、5、6年でプログラミング学習に取り組んでいる。



元気に100歳体操！
口腔フレイル予防もお願いします

先進校の視察や教職員の研修などを実施していく。

健康寿命延伸、フレイル対策

問 フレイル予防の課題は。

答 健康介護課長

介護予防教室や出前講座に自ら参加しない方に、いかに勧めるかということ。引き続き周知に努めていく。

問 オーラル（口腔）フレイルは。

答 健康介護課長

介護予防教室で実施、他に「健口教室」を実施している。有効な方策の情報収集に努める。

LGBT(性的少数者)にフレンドリーな富良野町

問 要望書が出されているが町の取り組みは。

答 総務課長

全職員対象に正しい知識と理解を深める研修会を実施した。可能なものから取り組んでいきたい。

循環バスが走っていない地域への対応は

町として最良の方法を選択していく



いずみしんいちろう
泉伸一郎 議員



利便性の高いサービスが求められる町内循環バス

問 循環バスが走っていない地域への対応は。

答 企画財政課長

近隣自治体などにおいて、デマンドタクシーや地域助け合い交通などを実施している。また、「乗り合い形」や「ハイヤー形」などさまざまな模索されている。現在、宮代町の第5次総合計画策定の実行計画検討チームの中でも検討中で、町として最良の方法を選択していきたい。

近隣市につながる道路整備

問 町道252号線の延伸の進捗と進展は。

答 まちづくり建設課長

延伸部分に係る延長は約410m、幅員は16mで検討している。現在、春日部市が県の農林部と調



春日部市への開通が期待される町道252号線

整中で協議が整い次第、国の農政局との協議に入る。都市計画決定と土地区画整理の事業認可は令和2年度以降となる見込みであり、引き続き、春日部市と連携・協力していく。**問** 医療施設の誘致について、町の取り組みは。

答 健康介護課長

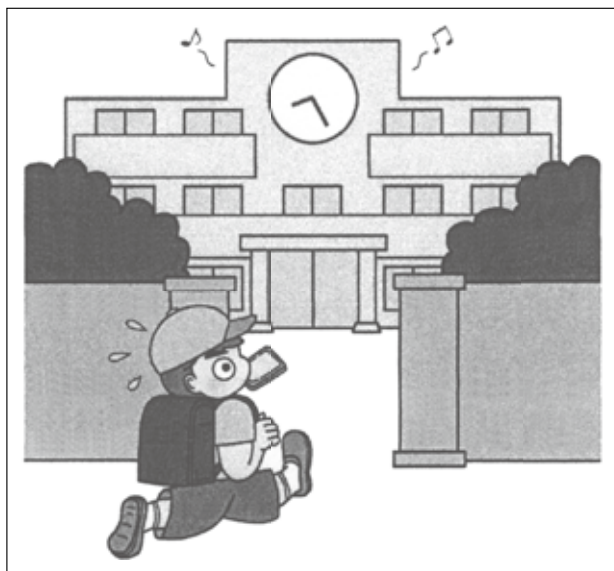
県が実施した医療整備計画の公募に町内での病床整備を計画した医療法人が応募したが、審議中に継続協議から除外する決定がなされた。町としては今後も県に増床が認められるような働きかけを行っていく。

学校の統廃合の説明会はいつ頃か

現時点では、実施時期は明言できない



あきお やました 山下 秋夫 議員



学校は近くにあればいいね

会で話し合っている。

答 町長

町としても、教育委員会と調整のうえ、必要な方向性を検討していきたい。

問 統合した場合、何人になるか。また、教育効果はあるのか。

答 教育推進課長

令和13年で中学校の生徒数は推定で720人程度になる。

答 教育長

たくさんの人たちと交流ができる。専門の先生を常勤での配置ができ、教育的効果がある。

問 教育効果の根拠は。

また、住民への説明会はいつ頃か。

答 教育推進課長

方向性を整理後、

住民への説明会は必須であるが、時期は明言できない。

国保・こどもの

医療費問題

問 国保税を誰でも払えるよう国に求め、こども医療費の現物支給を県内まで拡大を。

答 住民課長

国保税は、町独自の減免措置を設け、減免に該当する所得などを生活保護基準の1・3倍まで拡充

している。

答 子育て支援課長

県では現物支給を県内全域で実施に向けた見直しが進められている。

町の防災対策は

問 防災マップの確立と具体的な避難体制の検証は。

答 町民生活課長

来年度、最新のハザードマップの更新予定で、全課を対象に反省点などの意見を集約し、今後に活かしていきたい。



こどもの医療費は、どこでも窓口払いなしの実現を

和戸駅西口の開設は周辺住民の長年の夢

駅地下道を利用しての方法は課題も多い



かわの たけし
川野 武志 議員



和戸駅西口開発は住民の願い

問 町長も和戸駅西口のパスモ改札設置を公約に掲げており、東武鉄道と協議を進めてきたと思うが、これまでの取り組みで問題点や課題は整理されたのか。また、実施時期や費用の想定は。

答 企画財政課長 東武鉄道本社に本年度も3回ほど訪問し、駅の地下道を西側に延長する方法を相談しており、一定の理解を得ているが課題も多い。橋上化した幸手駅は自由通路を含めると約28億円。西口開設には駅前広場を含んだ一帯の面的整備が必要だが県計画により市街化区域の拡大が見込めない。

和戸駅西側整備の取り組み

問 近年、住宅が多数建てられており、早急な対策が必要だが、整備の問題は何か。また、駅前広場や道路を先行整備できないか。

答 まちづくり建設課長 問題は、市街化調整区域であること。県計画により面的整備



うばがやおとし
景観をそこなう姥ヶ谷落川の合流付近のガレキ

備を行っても市街化区域に編入できないこと。残土の山が存在することの3点。今後、関係地権者などと意見交換を行い、整備方針を決定する。

備前堀川の

護岸整備

問 県事業に合わせて鉄橋から文珠院橋までの右岸フェンスや舗装を整備できないか。

答 まちづくり建設課長 できる限り早期に改修工事を進めていきたい。

小中学生の地域の居場所が少ないが

社会的課題への対応として設置を検討する



つかむら かおり
塚村 香織 議員



役場1階 3世代で交流できる子育てひろば

問 小中学生が利用しやすい児童館の設置は今後あるか。

答 子育て支援課長
以前「ふれ愛センターみやしろ」に児童館を設置していた

が、閉館後、役場庁舎内に子育てひろばを設置したので今後児童館の設置予定はない。

問 家でも学校でもない第3の場所「子ども居場所づくり」を町はどのように考えているか。

答 子育て支援課長
地域の子ども達を受け止め、見守り、支える拠点としての居場所は重要。今後運営団体などへの支援策も考えていきたい。

全ての児童生徒に学びの場を

問 学校に行けない小中学生が学ぶことがで



役場2階 教育相談室（消費者支援センターと共用）

きる適応指導教室の設置を考えているか。

答 教育長
現在、教育委員会内で相談業務を週3回行っている。より充実した内容、施設の必要性を感じているため、設置に向けて検討をしたい。

問 学校に行けない中学生的のための、さわやか相談室について学区外に通うことも可能か。

答 教育長
一時的な相談は他校に出向くことは可能であるが通学となると難しい。

申請負担の改善

問 こども医療費は町外でも窓口清算不要にできないか。

答 子育て支援課長
県において令和3年を目途に県内全域で利用できるよう見直している。

宮東地内の町道17号線の修繕を

工事期間は秋以降になる



がんだう えいち
丸藤 栄一 議員



早急な修繕が求められている危険な状態の町道17号線（宮東地内）

問 町内でこんなひどい状態の町道は他に見当たらない。危険であり、早急に修繕を。

答 まちづくり建設課長
県道から約290mの区間を路床から再整備し、工事は秋以降になる。

道佛地内の交通安全対策を

問 周辺の住民から「道路は良いが、交通安全の標識が少なく危険である」という声があがっている。

答 町民生活課長
規制や標識の設置は、公安委員会の裁量であり、危険な箇所は引き続き警察に要望していく。

台風19号の教訓から

問 戸別受信機を全世界帯に設置していく考えは。

答 町民生活課長
デジタル化整備に伴い、登録制メールやデータ放送を利用してのことから、戸別受信機の貸与は予定していない。しかし、長期的な対策としては、今後検討が必要と考えている。

消防署中島出張所の存続を

問 台風の巨大化や直下型大地震などに備え、防災・減災対策を構築することは、町の最重要課題である。しかし、中島出張所の廃止案には多くの町民から不安や



地域住民の心強い支えになっている消防署中島出張所

心配の声があがっている。

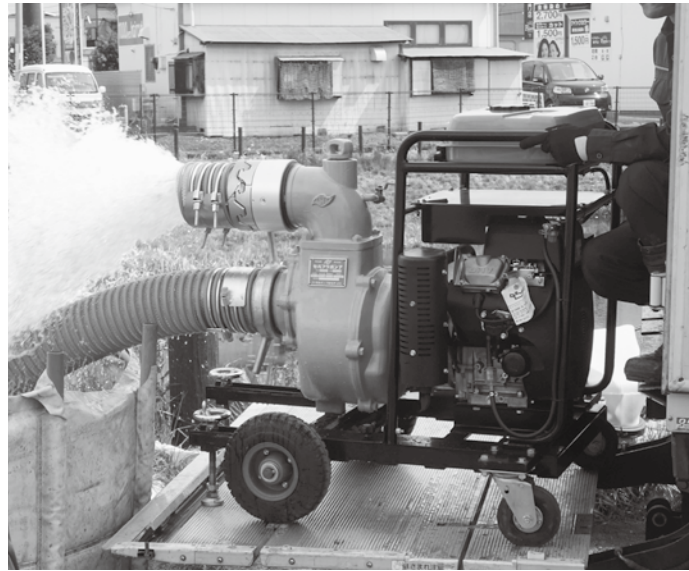
答 町長
これまでの救急体制をマイナスにするのではなく、逆にプラスにして、杉戸署と宮代署の消防力をアップしていくことを丁寧に説明していく。



おがわら 小川原 正 議員

笠原地区の緊急冠水対策を

姫宮落川の改修とエンジンポンプで対応



緊急冠水対策のエンジンポンプ

問 台風19号による浸水対策として、姫宮落川の改修工事と笠原地区の緊急冠水対策を。

答 まちづくり建設課長
姫宮落川の整備状況

況は、現在、東武鉄道の鉄橋付近からみずほの橋までの護岸工事を、今年3月末の工期で進めている。

さらに、みずほの橋から宮代橋までの区間は、すでに用地買収が完了しているので県知事と杉戸県土整備事務所長に対して、早期改修を要望した。

笠原地区の緊急冠水対策は笠原小学校のグラウンドの下に排水管を埋設し、エンジンポンプを使って、笠原人道橋付近の第5排水路から笠原沼落川に圧送すること、被害の軽減をはかる。



町内全域利用できる循環バスを

また、前回の台風で効果が認められた止水板を30枚ほど追加購入する。

新型コロナウイルス対策

問 新型コロナウイルスの宮代町の危機管理は万全か。

答 健康介護課長

3回の対策検討委員会と5回の対策本部会議を開催した。

本町の対応は、子ども、高齢者が利用する陽だまりサロンと子育てひろばの施

設は、3月10日までの閉館を確認し、その後、感染状況を勘案し、3月31日まで休館の延長をした。

循環バスを

町内全域に

問 町内全域で便利に利用できないのは不公平である。

答 企画財政課長

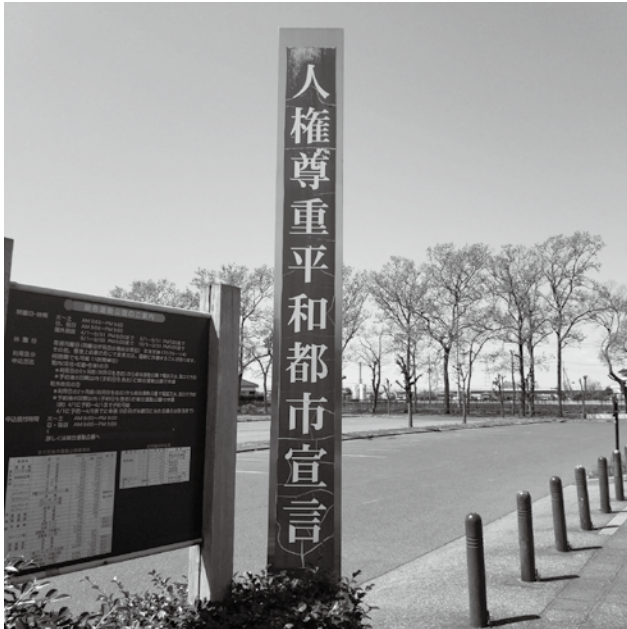
高齢化が進み、バス停のない地域の移動手段として、デマンド交通を検討している。

町長の人権意識を問う

町議員には礼節を持ち接している



まるやま たえこ
丸山 妙子 議員



人権意識の向上は、町の住みやすさや発展につながる

問 ①町議選の際、一部現職議員には為書きを送らなかつた。真剣にまちづくりに取り組む議員の気持ちを考えたか。

答 町長
基本的に出馬、出陣式などのオフアワーをいただいた方に配り、特別に誰かを選択したくないの思いはない。

問 ②人権研修参加者の現状の態度で、人権意識や人権教育の推進は進むのか。

答 教育長
求められる取り組みも時代に応じて変化していくもの、町と連携しつつ、人権尊重の町になるよう各種施策、事業を推進していく。

迅速な判断と対応を望む

問 ①新型コロナウイルススへの対応は。

答 健康介護課長
常に最新の情報把握に努め、必要に応じて対策本部を開催。情報共有と適切な対策を迅速に講じる。

問 ②災害など緊急時には町民第一で迅速な判断と対応を。

答 町長
反省すべきことは真摯に受け止め、今後の災害に備える。



指導員の要望が活かされた建物になっているか

学童保育所新設

問 学童保育所(ふじ)の指導員の要望をどれだけ反映したか。

答 子育て支援課長
学童指導員などの意見を踏まえ、安全面や利便性を考慮した。

人道橋の設置

問 須賀下地域と、むさし堤団地の間に歩行者の橋の設置を。

答 まちづくり建設課長
早期の実現は困難な状況。



あいかわ たいじ
合川 泰治 議員

宮代町の地方創生はとうなった

地域力も確実に向上している



宮代町の地方創生は東武動物公園と

問 宮代町まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成27年～令和2年）の成果と課題は。

答 企画財政課長
合計特殊出生率は

増加傾向を続け、社会動態も転出を転入が上回り人口は3万4000人を維持している。

また、地域に目を向けると、地域交流サロンは29か所生まれ、自主防災組織率は100%を達成するなど、地域力も確実に向上している。

しかし、地域の活動が広がりをもせているからこそ、地域の担い手が不足しているといった課題も生じていると認識している。

計画の推進にあたっては、多くの主体が主役となって活躍することが最も大事



最高の福祉を実現できる場所へ

なので、第5次総合計画に十分に反映させていきたいと考えている。

旧ふれ愛センターの活用は

問 旧ふれ愛センターの活用を進めているが、現在の検討状況は。

答 福祉課長
本年1月には理事会が開催され、社会福祉協議会の移転と

施設整備費などにあてるための基金の取り崩しについて、出席理事全員の賛成により可決承認された。

一方、町では、県補助金の活用について埼玉県と協議を行うとともに、建物の躯体と基本設備の修繕や交換費用として、令和2年度の当初予算に必要経費を計上した。

笠原地区の浸水対策は

県に強く要望。補正予算も計上



かねこ ただし
金子 正志 議員



急ピッチで整備が進む「姫宮落川」の河川改修（3月7日）

問 令和元年の12月議会で「浸水対策を求める請願」が採択された。その後、町は県に対してどのような働きかけをしたか。

答 まちづくり建設課長 昨年12月17日には県知事に、12月20日

には杉戸県土整備事務所に、町長が直接、被害状況を報告し河川改修の早期完了を強く要望した。

3月補正予算において、排水用エンジンポンプ3台と排水管の設置工事などを計上した。

教育施設の ネットワーク

問 ①宮代町内の公立学校での安定した無線LAN環境の構築はできているのか。

答 ②災害発生時ににおける無線LAN環境の開放に対応できる準備はできているのか。

教育推進課長

①各学校でのGIGAスクール構想を推進するため無線LANを構築し、学校内の通信ネットワークの整備を進める。必要となる事業費を



笠原沼落川。マコモの除去と川底整備が完了（4月10日）

議員選挙の公報

問 選挙公報の折込状況は。

総務課長

今回の町議会議員選挙では町内世帯数1万5070世帯、折込業者に1万600部を引渡した。配布率は70・3%となる。



あさくら たかお
浅倉 孝郎 議員

小中学校のトイレの改善を

学校と連携し早急に対応



毎日使う小中学校のトイレ、改善は早急に

いる。

答 教育推進課長

本町の洋便器率は全国平均を下回っている。現在、改修を行う際に個別に洋便器化を行っている。

臭い対策やドアの修繕は、学校から情報収集をし、学校と連携しながら、必要に応じて教育委員会の予算の範囲内で早急に対応していく。

東口にバス停を

問 循環バスの停留所を東武動物公園駅の東口ロータリーに設置してほしい。

答 企画財政課長

東口ロータリーは狭く、安全上バス停



東武動物公園駅の東口に循環バスの停留所を
(停留所はイメージ)

の設置は難しい。東口の整備計画終了後は、バス停の設置も可能となる。

SDGsの考えを

問 第5次総合計画に、地域課題の解決や地域経済の活性化などにつながるSDGsを取り入れるのか。

答 企画財政課長

SDGsが持つ今日的な普遍性と第5次総合計画には共通項があると考える。

地域経済の活性化

問 地元に残るお金、地元から出ていくお金を可視化する「漏れバケツ理論」を取り入れた経済対策を。

答 産業観光課長

経済の循環を意識した取り組みを加速化させていく。また地産外商や町外からの交流人口の増加による消費拡大という視点も取り入れていく。

問 小中学校の児童生徒や保護者から、トイレの洋便器化や臭い対策、ドアの修繕を早急にしてほしいと強い声があがって

蓋かけなし側溝の単位当たりの平均費用は

蓋かけなしの費用は1m当たり約16万円



にしむら しげまさ
西村 茂久 議員

和戸横町地区計画概要 (参考)

1 協同施工者	日本興新(株) 大和ハウス工業(株)
2 施工面積	約19.6ha
3 事業期間	令和元年6月～令和5年3月
4 総事業費	56億3300万円
5 町負担金等	なし

問 町道での側溝の総延長と蓋がけまで終了している距離は。
答 まちづくり建設課長 町道の総延長は約29.9km、うち舗装済延長は約19.5km、率で約65%。蓋がけまで完了している距離は約12.1km、蓋かけなしが約23kmと

なっている。
問 側溝の状態はさまざまだが単位当たりの費用は。
答 まちづくり建設課長 条件により大きく異なるが、幅員4m道路を100m区間で一般的な30cm×30cm×4mの側溝に両側を布設替えた場合、1m当たり約16万円となる。
問 町内循環バスのスタート時からの利用者数は。
答 企画財政課長 平成7年度約1万人、22年度は約3.1万人、27年度は約4.2万人、30年度は約5.5万人となっている。
問 平成30年度利用者数ベストスリーの停留所は。
答 企画財政課長 東武動物公園駅西口、宮代台中央公園道仏。

町内循環バス乗降人員停留所ベスト10 (参考) (平成30年度)

(単位：人)

	停留所	計	乗車	降車	1日平均
1	東武動物公園西口	16,632	7,661	8,971	46.2
2	宮代台中央公園	9,776	5,644	4,132	27.2
3	道仏	8,990	4,647	4,343	25.0
4	ぐるる宮代	7,563	3,875	3,688	21.0
5	宮代町役場	6,867	3,046	3,821	19.1
6	和戸駅	6,440	3,244	3,196	17.9
7	沖ノ後 (すずき整形クリニック)	5,173	2,341	2,832	14.4
8	姫宮駅西口	4,808	2,511	2,297	13.4
9	本田5丁目 (クスリのアオキ)	3,906	1,908	1,998	10.9
10	保健センター前	3,819	2,179	1,640	10.6
39 停留所合計		110,722	55,361	55,361	307.6

問 現町内循環バスは目的を十分達成しているとの認識か。
答 企画財政課長 活動拠点となる公共施設や集会所、商業施設や医療施設などを停留所に組み合わせ、町を直線的に結ぶことで年々利用者が増加しており達成したと思慮する。
問 和戸横町地区都市計画変更の説明会について。
答 まちづくり建設課長 事業予定地隣接の5地区対象に一昨年開催し約130人が参加。



つちぶち やすみ
土漉 保美 議員

宮東地区町道17号線の早急の道路整備を

令和2年度中に整備を実施



至る所に^{わだち}轍があり危険な状態の町道17号線

道路整備について

問 危険な状態の宮東地区町道17号線の道路整備を早急にすべきだと思うが、町の考えは。

答 まちづくり建設課長

工事費を令和元年度の3月補正予算に計上し、県道接続部から約290mの区間を令和2年度中に整備する。

町民ロードレース大会を

問 近隣の市町村では、必ず行われているロードレース大会を実施すべきだが、町の考えは。

答 教育推進課長



宮代町でのロードレース実施を（イメージ）

具体的な計画はない。現在実施している事業の充実を図っていききたい。

町民まつりについて

問 町民まつりについて、人材育成と更なる飛躍のために町はどのように考えているか。

答 町民生活課長

町民の方々の自主的な参加と職員自身の発的な参加が広がり

ますよう呼びかけていく。

イベントの発展を

問 祭りごとやイベントが地域に発展するためには。

答 企画財政課長

今後10年は高齢化もさらに進むので、地域の皆さんが役割を持って活躍できるような支援を引き続き行っていきたいと考えている。



町民の声



よこかわ たかし
横川 剛士さん
(学園台)

宮代町の美しい自然と、ができたと感じています。進修館と笠原小の建物にすっかり魅せられ2004年に移住。その後、長男がボーイスカウト活動に参加することになったのがきっかけで、現在は小学3～5年生を対象としたカブスカウト隊の隊長として活動しています。通常、都心に通う会社員では出会うことがない子ども達や保護者の皆さん、他のスタッフとの活動を通じて、よりこの町に暮らす楽しさが増え、人間的にも成長すること

ができたと感じています。また最近では、日本工業大学の見学や農家との米作りなど、地域企業や団体に協力頂きながら楽しめるイベントの企画に夢中です。

私は初代町長である齋藤甲馬さんの考え方がとても好きです。これからはおそらく混沌とした時代になりますが、町政・議会には初代町長のような個性豊かな取り組みを進めてもらい、この町がますます素敵になることを期待しています。

議会を傍聴しませんか

6月議会の予定は
5月28日(木) 午前10時開会
進修館 議場

一般質問は6月3日(水)・4日(木)・5日(金)

※新型コロナウイルス感染拡大の予防のため日程などが変更になることがあります。



表紙の写真紹介
3月に新しく開設した「ふじ児童クラブ」。笑顔がたくさんあふれています。元気いっぱい遊ぶ子ども達の姿が楽しみです。左の写真は、新型コロナウイルス感染症対策で導入した電解水生成装置で手を洗う児童。

編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、夏の民間企業ボーナスが大幅なマイナスになると予想されている。これから企業の決算発表が相次ぐ。頑張ろう！日本。(金子)

- 広報委員**
- 委員長 金子 正志
 - 副委員長 塚村 香織
 - 委員 丸藤 栄一
 - 委員 泉 伸一郎
 - 委員 浅倉 孝郎

議案に対する各議員の賛否

○賛成 ●反対 - 議長は採決に加わらない

議案番号	議案	議決結果	日本共産党	無党派	政策会議	公明党	令和新風の会	議長
			2人	1人	かがやき4人	2人	4人	
1	地方自治法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	可決	○	○	○	○	○	-
2	新しい村設置及び管理条例	可決	○	○	○	○	○	-
3	印鑑条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	-
4	町道路線の廃止	可決	○	○	○	○	○	-
5	町道路線の認定	可決	○	○	○	○	○	-
6	令和元年度一般会計補正予算(第6号)	可決	●	●	○	○	○	-
7	令和元年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	-
8	令和元年度介護保険特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	-
9	令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	-
10	令和元年度公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	-
11	令和2年度一般会計予算	可決	●	●	○	○	○	-
12	令和2年度国民健康保険特別会計予算	可決	●	●	○	○	○	-
13	令和2年度介護保険特別会計予算	可決	●	●	○	○	○	-
14	令和2年度後期高齢者医療特別会計予算	可決	●	●	○	○	○	-
15	令和2年度水道事業会計予算	可決	●	●	○	○	○	-
16	令和2年度下水道事業会計予算	可決	●	●	○	○	○	-
17	監査委員の選任につき同意を求める	同意	○	○	○	○	○	-
意見書	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的助成制度の創設を求める意見書(第1号)	可決	○	○	○	○	○	-

5月9日の町民と議員との懇談会は中止です

